

「3R・資源循環推進フォーラム」令和6年度事業計画

3R活動推進フォーラムは、規約およびこれまでの活動内容に示すとおり、国民、事業者、行政、研究機関等が一体となって発生抑制、再使用、再生利用の3Rによる循環型社会づくりを推進することを目的として、産官学民が参加し、国内のプラスチックの資源循環や循環経済に関する取組、内外の動きについて、情報発信、情報共有する場を提供してきた。

今後は、令和6年1月18日に会長宛て提出された企画・運営委員会答申を踏まえ、当フォーラムは「3R」から「3R・資源循環」、「3R・循環経済」へ事業展開を拡大させていくため、関係者間の情報交換・意見交換・交流の場を積極的に提供するなど、フォーラムの名称を「3R・資源循環推進フォーラム」に改めることとし、以下のとおり事業を実施していく。

I 組織運営

1 理事会・総会

令和6年度の定例の理事会・総会を年1回開催
開催日 令和6年6月（予定）

2 企画・運営委員会

令和6年度企画・運営委員会を会場及びオンラインのハイブリット形式で開催し、新たな組織の運営等について意見交換を行う。

第1回 令和6年7月（予定）

第2回 令和7年3月（予定）

II 会員の充実

令和6年2月末段階で、自治体会員79、団体会員等66、合計145会員となっている。

新たなフォーラム（「(仮称)3R・資源循環推進フォーラム」）では、自治体及び民間団体の会員数をより一層増加に努める。

その際、昨今の環境問題を取り巻く状況を踏まえ、動脈産業を含めた幅広い業界の団体に加盟を呼びかけていく。

Ⅲ 事業計画

新たなフォーラム（「（仮称）3R・資源循環推進フォーラム」）になることに伴い、これまで通り特別の利益を代表することのない公益的団体として、産官学民が参加する場を提供することにより、国民、動静脈産業、国・地方自治体、大学・研究機関をつなげ、異なる主体間の連携・交流の促進と必要な情報を発信・共有する機能を強化していく。

なお、事業の推進にあたっては、より一層、効果的・効率的に運営するとともに、あわせて事業の見直しを図る。

1 3R推進全国大会及び関連事業（環境省3R推進企画運營業務）

「第18回3R推進全国大会」（以下、「3R推進全国大会」という。）を開催するとともに、大会式典で循環型社会形成推進功労者環境大臣表彰及び3R促進ポスターコンクール最優秀賞表彰等を実施する。

また、3R推進地方セミナーにおいては、各主体が具体的な行動を起こしていただくための情報提供を行う。

（1）第18回3R推進全国大会

①開催目的

国民・事業者・行政が一堂に会し、プラスチック資源循環の促進や循環経済の普及などを促進するため、参加者一人ひとりが資源循環・3R推進に関する理解を深めるとともに、循環型社会の形成に向けた取組を推進することを目的とする。

なお、令和6年度の大会においては、これまでと同様の情報提供に加え、参加者同士が情報交換、意見交換ができるようプログラムを工夫する。

②開催予定日時（予定）

令和6年10月24日（木）～25日（金）

③開催予定場所（予定）

さいたま市プラザノース（〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町1丁目852番地1）

④主催（予定）

環境省、環境省関東地方環境事務所、埼玉県、3R活動推進フォーラム（第18回3R推進全国大会実行委員会）

（2）循環型社会形成推進功労者環境大臣表彰審査等業務

循環型社会形成推進功労者を表彰する制度は、廃棄物の発生量の抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）の適切な推進に顕著な功績があった個人、企業、団体を表彰し、その功績をたたえて、循環型社会の形成の推進に資することを目的として、平成18年度に環境省によって開始された。

申請は、都道府県、環境省地方環境事務所、3R活動推進フォーラムから行われ、環境省が審査・決定し、3R推進全国大会式典の席上で表彰式を行っている。3R活動推進フォーラムの場合、会員団体から推薦をいただき、環境省に推薦をする。

①公募開始 令和6年4月下旬（予定）

②応募締切り 令和6年6月下旬（予定）

③審査会 令和6年8月下旬（予定）

④表彰式 令和6年10月24日（木）開催（第18回3R推進全国大会）（予定）

(3) 3R促進ポスターコンクール選定等業務

3R促進ポスターコンクールは、毎年、環境省と共催で実施しているもので、循環型社会の形成を推進するために、全国の小学生、中学生を対象に3Rを促進するための啓発用ポスターを公募し、優秀な作品を選考・表彰することにより、生徒一人ひとりが循環型社会のあり方について考えるきっかけにするとともに、優秀な作品を全国の3R活動の推進に活用するなど普及啓発に資することを目的としている。

- ①公募開始 令和6年5月下旬（予定）
- ②応募締切り 令和6年9月中旬（予定）
- ③審査会 令和6年9月下旬（予定）
- ④表彰式 令和6年10月24日（木）開催（第18回3R推進全国大会）（予定）

(4) 環境省主催3R推進地方セミナー

環境省主催による3R推進セミナーを、都道府県、市町村、環境省地方事務所等と連携し、開催する。なお、令和6年度のセミナーにおいては、これまでと同様の情報提供に加え、参加者同士が情報交換、意見交換ができるようプログラムを工夫する。

2 連携・協働事業

令和5年度に行った事業を継続するほか、令和6年度から新たに実施する事業や拡充する事業などを含め、以下の事業を実施する。

事業の実施にあたっては、行政、企業、NPO団体等と連携・協働して、直近の課題や循環経済をテーマに設定してセミナー等を開催し、情報提供などを行う。

(1) 3R推進団体連絡会との共催による容器包装交流セミナー

容器包装の3R・資源循環をテーマに、市民、自治体、事業者などのステークホルダーが一堂に会し、容器包装の3R・資源循環に関する最新情報を共有し、改善すべき課題などについて意見交換することにより、相互の信頼を深め、連携・協働を進めるため、全国各地でセミナーを開催する。

(2) 持続可能環境センターとの連携

環境が将来にわたって持続するよう、家庭・企業・コミュニティ等において必要な知見を共有するとともに、活動の輪を広げるための教育・人材の育成等を支援することにより、持続可能な地域社会づくりに貢献する目的のため連携活動を継続する。次年度の活動は以下の予定。

- ①持続可能環境センター（3R・低炭素社会検定）総会・運営委員会・企画委員会
- ②3R・低炭素社会検定試験講習開催 運營業務（関東地区：東京会場）
- ③3R・低炭素社会検定試験開催 運營業務（関東地区：東京会場）
- ④合格者向けの記事 「ニュースレターRでつながる」3R・低炭素社会検定ニュースレター編集委員会

(3) リデュース・リユース・リサイクル推進協議会との連携

- ・循環・3Rリレーセミナー

令和7年2月開催予定（現地開催及びオンラインによるハイブリット開催）

(4) 3R・資源循環先進事例研究発表会の開催

新規事業

令和6年8月 発表事例企業の公募開始

令和6年11～12月 開催予定（現地開催及びオンラインによるハイブリット開催）

(5) 廃棄物・3R研究財団との連携による年次報告会

公益財団法人廃棄物・3R研究財団とともに年次報告会を開催し、「(仮称) 3R・資源循環推進フォーラム」の活動報告を行う。

(6) スチール缶リサイクル協会との連携

スチール缶リサイクル協会が行う、地方自治体等が主催する海岸清掃や散乱防止・美化キャンペーン等に参加する。

(7) 資源リサイクル促進センターとの連携

小中学生が3Rや循環型社会に関心と理解を深め、循環型社会に向けた意識の醸成のための講座等の開催を検討する。

(8) 出展

全国都市清掃会議全国大会とやま環境フェアなど、連携する団体等の大会やフェアなどでの出展の参加を検討する。

(9) 特別セミナー（仮称）

新規事業

時代の要請に応えるべく、「3R」から「3R・資源循環」へと活動範囲を拡充するとともに、3R・資源循環を徹底することが脱炭素社会の実現・ネイチャーポジティブ・地方創生に資することを踏まえた情報発信が求められている。

このため、新たなフォーラムでは、テーマに応じて会員団体と連携を図りながら、資源循環（循環経済）に関する最新の先進的情報を提供するセミナーを開催する。

3 実務講座・相談事業

(1) 自治体、事業者からの自治体・事業者との勉強会、研修

要望に応じて勉強会や研修を実施する。

(2) 講師派遣

自治体、事業者からの要望に応じて、講師を紹介、派遣する。

4 広報普及事業

(1) ホームページを通じたプラットフォーム機能拡充

拡充事業

国民、事業者、行政、研究機関が一体となったプラットフォーム機能を強化して、今後も環境省をはじめとする府省や、会員との連携を図り、幅広いステークホルダーが情報共有、相互連携できることを目指す。

また、フォーラムのホームページに英文表記のページを作成する。

(2) 動画配信や事務局通信など会員向けサービス

組織の強化・拡充と相俟って、会員サービスの充実を図っていく。

動画コンテンツを掲載するほか、実施したセミナーの講義などの「動画配信」のコンテンツをホームページに掲載する。

また、年に3～4回（予定）の会員向けの事務局通信では、自治体関連企業へ取材を行った記事を掲載する等、フォーラムの活動報告以外のコンテンツや、循環経済に関する情報の発信を行う。

(3) ホームページやメルマガを通じた普及啓発活動

会員との連携を強化し、相互に情報提供を行えるような関係性を構築するため、ホームページなどを活用した双方向のコミュニケーションにより情報交流を行い、さらなる信頼関係の構築を目指す。

メルマガは、廃棄物・3R研究財団と共に1か月に2回程度の配信を行う。

(4) 3R促進ポスターコンクール展示会

3R促進ポスターコンクールの最優秀賞及び優秀賞の作品（各部門4点）のパネルの貸し出しを行い、3R促進の普及啓発に努めると共に、当年度のコンクールの応募へのきっかけとなるように、公共の場などへの展示を行う。

(5) 後援、協賛、協力等

各関連団体等の後援、協賛、協力等に対する要請にこたえる。

(6) Rマーク表示の啓発普及

Rマーク（再生紙使用マーク）については、環境省が策定した環境表示ガイドラインの表示方法、普及推進するための広報活動の強化に努めていく。

(7) その他、相談対応について

これまで事務局に寄せられた問合せ内容を精査し、必要に応じてホームページ上によりわかりやすく表示する工夫を行う。

連携等の相談については、廃棄物・3R研究財団とも連携し、課題解決につながるよう情報提供を行う。

(8) メディア掲載

専門新聞・雑誌の取材について、積極的に協力していくとともに、フォーラムの事業についての情報提供を定期的実施するなど記事掲載等による周知を図っていく。（月刊廃棄物、環境新聞、循環経済新聞、環境産業新聞 等）